

# KENWOOD

## DRV-610

スタンダード ドライブレコーダー

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をお読みください。説明の通り正しくお使いください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



### メモリーカードについてのご注意

- メモリーカードは定期的にフォーマットしてください。
- メモリーカードは消耗品であり、寿命があります。SDエラーが出る場合にはメモリーカードの寿命が考えられますので、新しいSDカードと交換してください。※推奨SDカード: KNA-SDBA/KNA-SD16A/KNA-SD32A 詳しくは当社ホームページでご確認ください。[http://www.kenwood.com/jp/products/car\\_audio/option/sd/](http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/sd/)
- メモリーカードの寿命に起因する故障または損害については、当社は一切の責任を負いません。

© 2016 JVC KENWOOD Corporation BSA-1206-60 (J)

## 本機のセットアップ<本機をご使用になる前に必ず実行してください。メモリーカードは挿入していない状態でセットアップを開始してください。>

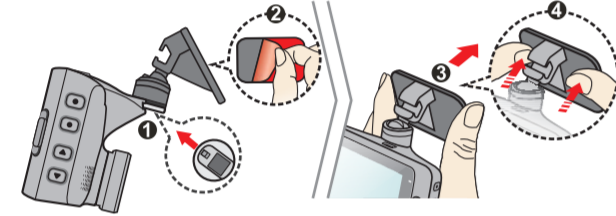
### Step 1: 本機の取り付け / 配線

- フロントガラスの上部から20%の範囲内に取り付けてください。
- 運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ワイパーのふき取り範囲内に入るように取り付けてください。
- ルーフミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 車検証ラベル等に重ならないよう注意して取り付けてください。
- 他の車載機器（安全支援システム用カメラや防眩ルーフミラーなど）に影響を与えない位置に取り付けてください。詳しくは車両の取扱説明書を参照ください。
- 運転やエアバッグ動作の妨げにならないよう注意して取り付けてください。
- きれいに録画するために、バックミラーの近くに本機を配置することを勧めます。
- 車のフロントガラスが、反射コーティングで着色されている場合、電波を伝えずに、GPS受信に影響を与える可能性があります。

- 車が水平な場所に駐車していることを確認する
- 設置する場所を市販のクリーニングクロスなどで汚れや脂分を取り除く



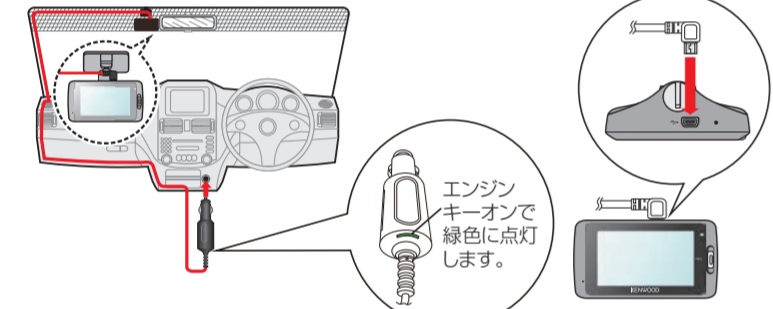
- 以下の手順に従って、本機を車内にしっかりと取り付ける



貼り付け位置を確認して貼り付けます。粘着テープの取付強度を強くするため、取付後24時間以上放置してから使用してください。

### 付属のシガープラグで接続する

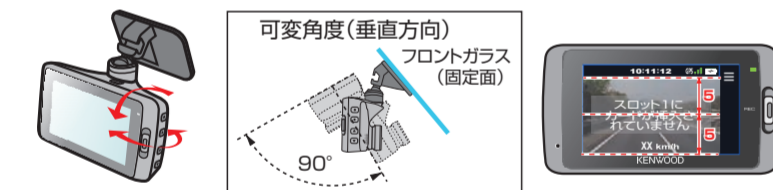
- 付属のシガープラグをシガーライターに接続して本機に電源コードを接続し、配線する



電源がオンになり充電が始まります。

### 2 取り付け角度を調整する

実際使用するとき、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また地上と空の比率が約5対5であることを確認してください。



### 3 保護シートをはがす



### CA-DR150 (別売品) で接続する

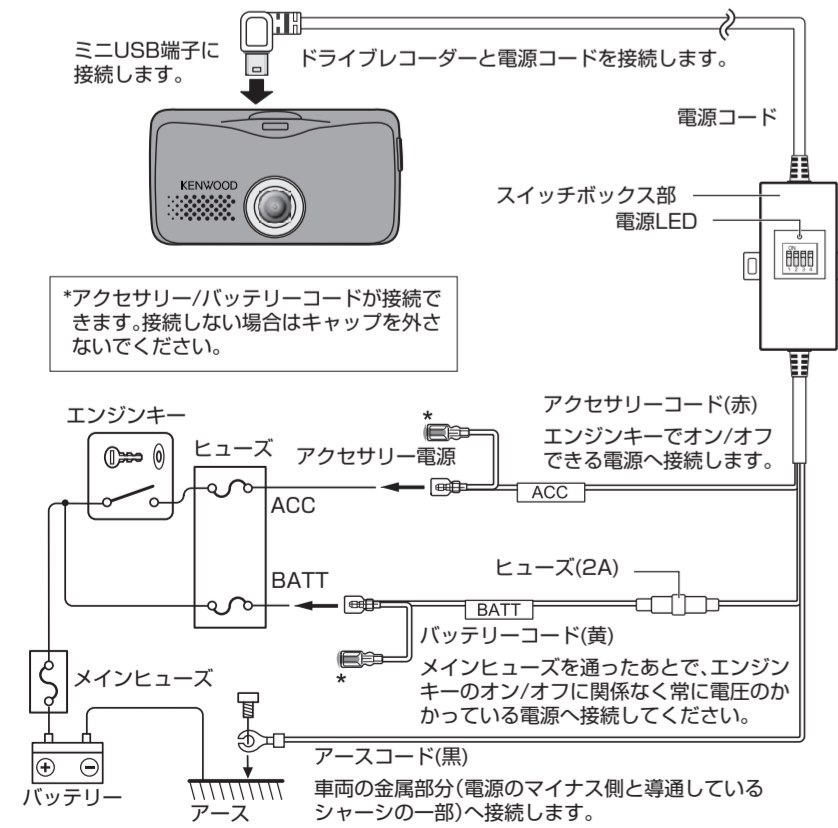
- 接続する前にCA-DR150 (別売品) に付属の取扱説明書に記載されている「安全のご注意」、「使用上のご注意」をよくお読みいただき安全に取り付けてください。また、スイッチ設定、配線についても事前にお読みください。

### 1 「電圧カットオフ値設定」と「オフタイマー設定」を設定する

CA-DR150 (別売品) に付属の取扱説明書内、「スイッチ設定」をお読みになり必ず設定してください。

### 2 配線する

アクセサリ電源がオンになっても電圧降下(12V/24V)を判定するためドライブレコーダーへの6V供給は一定時間(約20秒前後)経過後開始されます。



### 3 取り付け角度を調整する

実際使用するとき、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また地上と空の比率が約5対5であることを確認してください。

### 4 カメラレンズの保護シートをはがす

### 本機の取り付け、配線、操作を始める前に、裏面の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して動かした使い方をしたときにも生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

### 危険

人が死または重傷を負う危険が迫り過して生じることが想定される内容を示しています。

### 警告

人が死または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 注意

人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を結符号で区別して、説明しています。

注意 (しなければならぬ)の内容です。

禁止 (してはいけない)の内容です。

実行 (かならず行いたい)の内容です。

免責事項について  
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### ご使用になる前にお読みください

#### ■電源について

本機の動作電源電圧はDC5Vです。必ず付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR150 (別売品) を取扱説明書にしたがって接続してください。ケーブルの改造(バッテリーに直接つなぐ)なども絶対に行わないでください。

#### ■SDスロットについて

本機のSDスロットは「1」と「2」があります。SDスロット1:録画用のメモリーカードを挿入します。SDスロット2:ファイルバックアップするときにご利用します。(市販のメモリーカードの購入が必要になります。)メモリーカードがSDスロット「1」に挿入されていないと正常に動作しません。メモリーカードのフォーマットについて  
本機はFAT32以外でフォーマットされたメモリーカードは使用できません。基本的には本機でフォーマットを行ってください。

#### ■本機起動時のご注意

本機は電源を入れて本機を起動したときにGセンサーの補正を行います。そのため正しく使用できる状態に調整、取り付けを行ったあとに本機の電源を入れてください。

### もしものときは

録画ファイルが上書きされないように本機の電源をオフにしてメモリーカードを取り出してください。  
メモリーカードを押し少し飛び出したら引き抜きます。

### Step 4: 安全支援機能の設定

安全支援機能を使用する場合は、「カメラ位置」、「ボンネット位置」の調整と安全支援機能「車線逸脱警告」、「前方衝突警告」、「発進遅れ警告」の設定を「オン」にする必要があります。

### カメラ位置、ボンネット位置の調整と機能をオンにする

- 見通しの良い、平らな安全な場所に車を停車させてください。

#### 1 メニューボタンを押してメニューを表示する



#### 2 「安全支援機能設定」を選ぶ



#### 3 「カメラ位置調整」を選ぶ

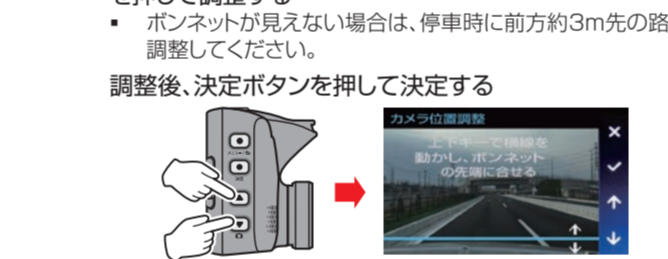


以下の手順でカメラ位置およびボンネット位置を調整する

- カメラの位置調整  
カメラを上下に傾けて、赤色の線を地平線の高さに合わせる  
カメラを左右に動かして、緑色の線が走行車線の中心にくるように合わせる  
調整後、決定ボタンを押して決定する



- ボンネット位置調整  
画面に表示されている青線がボンネットの先端に来るように、「↑」「↓」キーを押して調整する。  
ボンネットが見えない場合は、停車時前方約3m先の路面上に青線が来るように調整してください。  
調整後、決定ボタンを押して決定する



#### 4 設定する安全支援機能を選ぶ



#### 5 「オン」を選ぶ

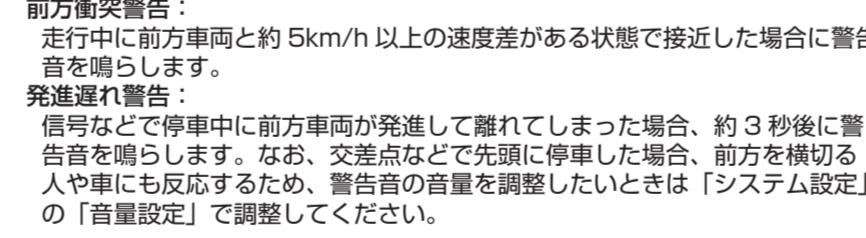


他の機能を設定する場合は、手順4と5を繰り返します。

- 「車線逸脱警告」と「前方衝突警告」をオンに設定すると、エンジンキーをオンにしたときに地平線(赤線)、ボンネット線(青線)が数秒間表示されます。

### 安全支援機能について

車線逸脱警告: 走行中の車線を逸脱した際に警告音を鳴らします。動作条件は約60km/h以上で走行中に動作。速度が約60km/h以下、逆光、雨天、走行レーンの汚れなど、条件によっては正しく動作しません。  
前方衝突警告: 走行中前方車両と約5km/h以上の速度差がある状態で接近した場合に警告音を鳴らします。  
発進遅れ警告: 信号など停止中で前方車両が発進して離れてしまった場合、約3秒後に警告音を鳴らします。なお、交差点などで先頭が停車した場合、前方を横切る人や車にも反応するため、警告音の音量を調整したいときは「システム設定」の「音量設定」で調整してください。

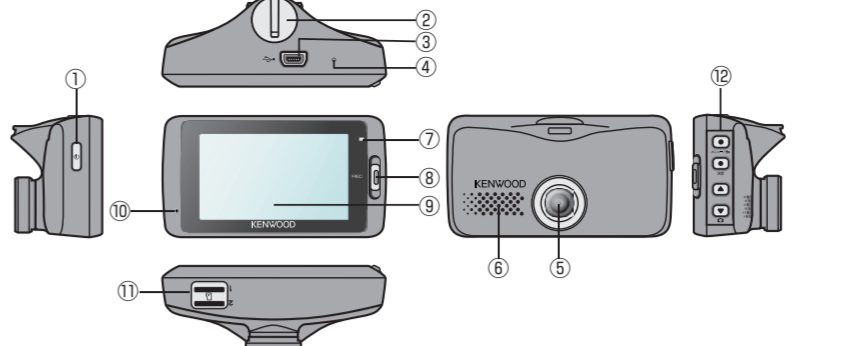


### 安全支援機能使用上のご注意

- 車両を平らで見通しの良いところに駐車して、カメラの角度、向きを必ず調整してください。また、カメラの位置がずれることで安全支援機能が正しく動作しません。調整後はカメラをしっかりと固定してください。
- ドライパーが運転中に調整することは絶対に行わないでください。安全な場所に停車して調整するか、同乗者が調整を行ってください。
- 安全支援機能は、ドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。またすべての危険を通報するものではありません。
- 運転時は交通ルールを守り、前方車両との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキをかけた上で安全運転に努めてください。また、本機の取扱説明書に従って、正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 車線逸脱警告はウィンカーと連動しないため、本機の仕様上、道路で車線を変更するときにも警告音がありません。
- 以下のような場合は、安全支援機能が正しく動作しない場合があります。
  - 舗装の劣化や降雨時の反射、建物の影などにより車線が正しく認識できない場合。
  - 前方車両の形状や色、光の加減などによって認識できない場合。
  - 天候(雨・雪・濃霧など)、時間帯(朝・夕方・夜間など)、逆光、交通状況(渋滞・歩行者など)による変化。
  - フロントガラスに映り込みがあると正しく動作しないことがあります。ダッシュボードに物などを置かないでください。

### 各部の名称とはたらき

本機の基本的な操作設定と設定方法について記載しています。



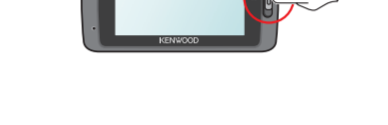
- 電源ボタン 押すと電源オンになります。2秒以上押し続けると電源をオフします。電源オンのときに押すと、画面表示がオフになります。
- 取付ブラケット挿入部
- 3ミ USB 端子 (DC5V) 付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR150 (別売品) を接続します。USBケーブル(市販品) を接続してパソコンとも接続することができます。
- リセットボタン 本機をリセットします。
- カメラレンズ
- スピーカー
- インジケーター (緑色: 緑色: 赤色: 赤色: 赤色: 赤色)

インジケーター	エンジンキー	充電状態	録画状態
緑色と赤色が交互に点滅	オン	充電中	録画中
赤色点滅	オン/オフ	充電していない	録画中
緑色点灯	オン	充電中	
消灯	オン	充電していない	駐車モード待機中
赤色点灯	オフ	充電していない	

- メニュー表示中は、「バッテリー」駆動時は赤色点灯、シガープラグ接続時は消灯になります。
- 別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR150を接続している場合、オフタイマーの設定時間内は、表中のエンジンキー「オン」の状態と同じになります。

### ⑥ イベント記録ボタン

手動でイベント記録を開始します。



### 本機の録画機能について

本機の録画機能は4つあります。電源がオンになると常時録画(機能1)を開始します。また、電源オン時に衝撃を検知するとイベント記録(機能2)を行います。本機の電源がオフのときは駐車モードで駐車録画(機能3)ができます。その他の機能として写真も撮影することがあります。(機能4) ドアを開けた時の振動を検出して、録画を開始する場合があります。

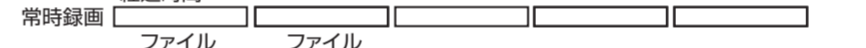
### 機能1: 常時録画 (連続録画)

もしもに備えて走行中の映像を常に録画します

#### 常時録画

本機の電源オンから電源オフまで常に録画しています。録画ファイルは古いファイルから自動で上書きします。

エンジンキーをオンにすると本機の電源が入り、数秒後に自動的に常時録画(連続録画)が始まります。常時録画ではファイルを分割して保存しています。録画領域がなくなると古いファイルから上書きして録画を続けます。



- 常時録画ファイルは「Video」フォルダに保存されます。
- 設定メニューの「録画設定」->「記録時間設定」で1ファイルの録画時間を設定できます。お買い上げ時は3分に設定されています。

### 機能2: イベント記録

走行中に衝撃を検知したら録画します

#### イベント記録

本機が衝撃を検知すると常時録画からイベント(衝撃)記録に切り替わり、衝撃を検知した前後約20秒を保存します。



突発的な衝撃、急加速、急ターン、予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。イベント記録を手動で始動させたい場合はイベント記録ボタンを押します。イベント記録が完了すると常時録画(連続録画)に戻ります。

- イベント記録ファイルは「Event」フォルダに保存されます。

### 機能3: 駐車録画

駐車中も衝撃および動きを検知したら録画します

#### 駐車録画

駐車場などに車を停めて本機の電源がオフになってから約15分\*の間、衝撃および動きを検知すると録画を開始します。ファイルは古いファイルから自動で上書きします。「自動起動設定」(裏面)を「高」/「中」/「低」のいずれかに設定している場合は、約5分車両に振動が加わらなかつた場合、駐車中判断し、駐車録画モードが起動します。



- 駐車録画機能を使うときは「本機のセットアップ」左のStep3「駐車録画モードをオンにする」を参照して設定してください。

駐車モードでは車両の衝撃およびノンズ範囲内の動きを監視します。監視中に車両への衝撃および動きを検知すると駐車録画を開始します。

- 駐車録画ファイルは「Parking」フォルダに保存されます。
- 駐車録画は衝撃・動作検知により最大60秒まで延長します。
- 衝撃や動きを検知してから数秒後に駐車録画が開始されます。
- 監視方法については設定メニューの「動作検出感度設定」と「衝撃検出感度設定」で感度を設定できます。

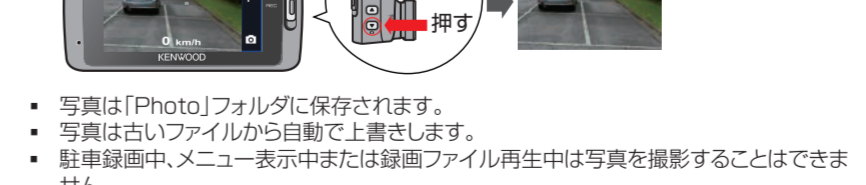
#### ■駐車録画機能をもっと長く使用したいときは

別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR150を使用して駐車モードをオンしてください。

- 駐車モードの常時録画を行うには、自動起動設定を「手動」にしてください。駐車モードに移行せずに上書きしながら「オフタイマー」設定値まで連続して「Video」フォルダに記録します。

### 機能4: 写真を撮影できます

表示している映像を写真として保存することができます。



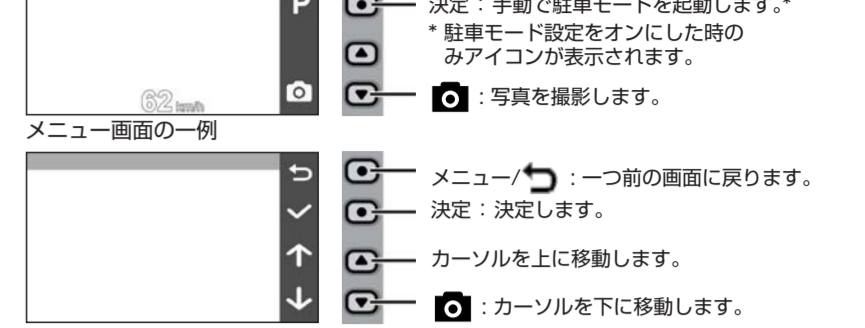
- 写真は「Photo」フォルダに保存されます。
- 写真は古いファイルから自動で上書きします。
- 駐車録画中、メニュー表示中または録画ファイル再生中は写真を撮影することはできません。

### ⑧液晶画面

- ⑩マイク 録音中の音声を収録します。
- ⑪SD スロット1/2 メモリーカードを挿入します。

### ⑨操作ボタン

4つのボタンの機能を、画面に表示されるアイコンで表しています。ボタンの機能は表示している画面によって異なります。



### アイコン

- 画面上部に、本機の動作状態をアイコンで表示します。① 録画中に表示され点滅します。② 現在時刻が表示されます。③ 音声同時記録が無効時にアイコンを表示します。有効時は表示しません。④ GPS 信号アイコンは、GPS 受信状態を示します。⑤ バッテリーアイコンは、バッテリー残量を表示します。充電中はマークが切り替わります。⑥ 現在の速度

バッテリーアイコンについて		GPSアンテナについて	
アイコン	状態	アイコン	状態
	充電中		信号レベル: 3
	緑(差充電)		信号レベル: 2
	緑(2/3)		信号レベル: 1
	緑(1/3)		信号レベル: 0
	赤(点灯)		
	赤(点滅)		
	充電無し		

### 記録時間の設定を変更する

#### 1 メニューを表示して「録画設定」を選ぶ



#### 2 「記録時間設定」を選ぶ



#### 3 設定したい時間を選ぶ



### 録画ファイルを再生する

本機で録画したファイルの本機で再生します。

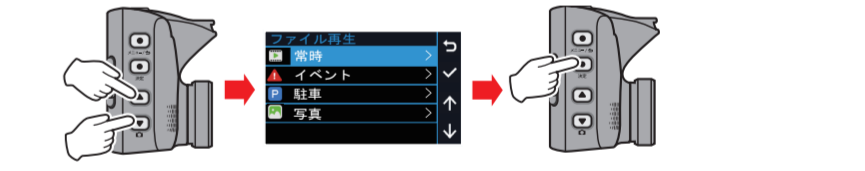
#### 1 メニューを表示して「ファイル再生」を選ぶ



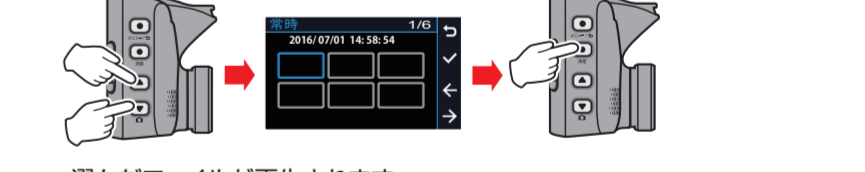
#### 2 「SD スロット1」または「SD スロット2」を選ぶ



#### 3 再生したいフォルダを選ぶ



#### 4 再生したいファイルを選ぶ



選んだファイルが再生されます。再生中に上から2つ目のボタンを押すと再生メニューが表示されます。



再生 / 一時停止: もう一度上から2つ目のボタンを押すと表示中のファイルを再生 / 一時停止します。

イベントへ移動: もう一度上から2つ目のボタンを押すと表示中のファイルを「Event」フォルダに移動します。

SD2へコピー: もう一度上から2つ目のボタンを押すと表示中のファイルを「SD スロット2」のメモリーカードにコピーします。

削除: もう一度上から2つ目のボタンを押すと「削除しますか?」と表示されます。さらにもう一度押すと表示中のファイルが削除されます。

### パソコンツールを使う

KENWOOD ROUTE WATCHER II は、本機で録画した映像を表示するためのパソコンツールです。操作または最新情報については[http://www.kenwood.com/jp/fwa/ce/option/drv\\_610/](http://www.kenwood.com/jp/fwa/ce/option/drv_610/)をご覧ください。

### インストールする

・インストールおよび操作する場合は「パソコン環境を「管理者権限」にて行ってください。本機に付属のCD-ROMを、パソコンのドライブに挿入します。Setup.exe (Windows)/KENWOOD ROUTE WATCHER \*\*\*.dmg (Mac) をダブルクリックし画面下の指示に従い、KENWOOD ROUTE WATCHER II をインストールします。(対応OS: Microsoft Windows Windows 7/8/10 32/64bit, Mac OS X 10.7以上)

- メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダー(市販品)または、USBケーブル(市販品)を経由して本機をパソコンに接続します。
- KENWOOD ROUTE WATCHER II を起動します。

